

学校環境衛生活動優良校表彰受賞
〜揖斐小学校〜

11月2日(火)学校環境衛生活動の努力校に選ばれた揖斐小学校の児童が揖斐川町役場を訪れ、受賞の報告をしました。

環境衛生活動は、県内の幼稚園を含めた公立の小中学校と高校が対象で、学校の環境衛生に対する取り組みを、約100項目にわたって審査し、点数に換算。点数の高い学校を表彰しています。

揖斐小学校は、全校児童による水道の水質検査、トイレのスリッパチエックなどを2年間継続したことが評価され、今回の受賞となりました。

保健委員長の高橋彩乃さん(6年)は、「この取り組みを後輩に引き継いでいきたいです。」と話されました。



▲継続することの大切さが評価されました

恋の成就ルートウォーキング大会

11月3日(水)、恋の成就ルートを巡るウォーキング大会が行われました。

この大会は、久瀬地域の観光資源の見直しと地域の活性化を目的に久瀬まちづくり協議会の主催で行われています。

この日は、地元の親子連れや中学生ら約60人が参加し、観光コースとして地元の久瀬まちづくり協議会がPRする「恋の成就ルート」を歩きながら、沿道のごみを拾い美化活動を行いました。

恋の成就ルートには、「夫婦滝」、「恋のつり橋」、「白鬚神社」、「結ばれ地蔵」などが含まれています。

参加者たちは、ゴール地点で恋の鐘を鳴らし、結ばれ地蔵に手を合わせていました。



▲久瀬公民館を出発する参加者

清流揖斐川の鮎を守ろう
外来種コカナダモを駆除

11月4日(木)、揖斐川の前島橋上流で、鮎の生息に悪影響を与える外来種コカナダモの駆除作業が行われました。

コカナダモは北米原産の沈水植物で、鮎のエサとなる水ごけを覆ってしまいます。

揖斐川中部漁協によると、昨年は特に繁殖量が多く、鮎の漁獲量は他地域と比べて低迷しており、今年も状況は悪化しているということです。

この日の駆除作業は、川の水量が減る用水取水ゲートの点検に合わせて実施され、漁協組合員や地元中学生など約100人で4時間かけて駆除作業を実施しました。



▲コカナダモ駆除作業の様子

岐阜県重要無形民俗文化財
春日の太鼓踊り

11月6日(土)と7日(日)の2日間、岐阜県重要無形民俗文化財に指定されている春日の太鼓踊りが、寺本地区にある六社神社で行われました。

寺本地区の太鼓踊りは、竹に色鮮やかな飾りをつけたバンバラを背負って左右に揺らし笛や鉦、唄を歌う人と共に踊ります。寺本の太鼓踊りは、他の地区に比べて太鼓を打つ際の腰を引いた低い構えが特徴で、衣装は上下とも色柄の派手なものを着用します。

踊り手の中には、「バンバラ」を背負う小学生や小さな太鼓を抱える子どもたちの姿も見られました。

歴史と伝統のある春日の太鼓踊りは地域住民が一体となって受け継がれています。



▲六社神社での寺本太鼓踊り

ぎふオレンジリボン
キャラバン隊が揖斐川町を訪問

11月9日(火)、児童虐待防止のシンボルである「オレンジリボン」(オレンジリボン)には子どもへの虐待を防止するというメッセージが込められています。を活用した「ぎふオレンジリボン・キャラバン隊」が揖斐川町を訪れました。

今年には児童虐待防止法制定10周年の節目にあたり、キャラバン隊は、11月の「児童虐待防止推進月間」に県内市町村を訪問し、啓発活動を展開しました。

キャラバン隊から宗宮町長へ「虐待は、どこか家庭、地域でも起こり得る問題であり、住民一人ひとりがこの問題への理解を深め、共に行動しましょう」と古田知事からのメッセージが手渡され、宗宮町長は、「次代を担う子どもへの虐待がない社会の実現を目指し行動します。」と決意を表明しました。



▲オレンジリボンキャラバン隊

ぎふ清流大会PR
キャラバン隊が揖斐川町を訪問

11月9日(火)、平成24年に開催されるぎふ清流大会(全国障害者スポーツ大会)をPRするため、キャラバン隊がグランドソフトボール競技の会場となる揖斐川健康広場を訪れました。

県下市町村を訪問しているキャラバン隊は、大会への協力を呼びかけ、宗宮町長は「おもてなしの心で、住民一丸で大会を成功させます」と決意を回遊旗に記しました。

会場では、さすが保育園の園児がキャラバン隊と一緒に来訪したミニナモとミナモダンスを披露し、来場者から大きな拍手が贈られました。

また、揖斐川町障害者小規模授産所「いずみ」と知的障害者授産施設「ハートピア谷汲の杜」が運営する「ベーカーリーハートピア」によるバザーも行なわれ、大会PRを盛り上げました。



▲さすが保育園の園児によるミナモダンス

揖斐川町産のヨモギで特産品を

11月9日(火)、揖斐川町産のヨモギを使った特産品作りを考えようと、農産物加工に取り組む女性グループを対象にした和菓子加工研修会が揖斐川町中央公民館で行われ、揖斐地区農業女性グループなど約30人が参加しました。

今回は、菓子製造販売の恵那川上屋(恵那市)の職人から蒸しパンと蒸しまんじゅうの作り方を教わりました。

町では、春日地区を活動拠点としているNPO法人山菜の里いびが、耕作放棄地を活用してヨモギ栽培に取り組んでおり、恵那川上屋とヨモギの和菓子の商品化を目指しています。



▲ヨモギを使った和菓子加工研修会の様子

いび川温泉藤橋の湯
来場50万人達成

11月19日(金)、いび川温泉藤橋の湯の来場者が50万人に達し、いび川温泉藤橋の湯の玄関前で記念のセレモニーが行われました。

50万人目とその後の方には、揖斐川町の特産品や温泉入浴回数券などの記念品が宗宮町長から手渡されました。

50万人目の幸運をつかんだのは、大野町からお越しの大久保進さんおおくぼすすむでした。

大久保さんは、「お湯がツルツルしていて泉質が好きです。月に1〜2回訪れるが、自分が50万人目の来場者になるとは思ってもいなかったもので、とてもうれしいです。」と話されました。



▲来場50万人記念セレモニーの様子

鮮やかな紅葉に彩られ
谷汲・横蔵寺もみじまつり開催

11月14日(日)に揖斐川町谷汲第1駐車場で、谷汲もみじまつりが、11月21日(日)には、横蔵寺駐車場で横蔵寺もみじまつりが開催され、多くの観光客で賑わいました。

谷汲もみじまつりは、谷汲踊保存会の勇壮な谷汲踊やよさこいソーラン、餅まきなどが行われました。

横蔵寺もみじまつりは、見ごろを迎えた紅葉を求めて訪れた多くの観光客が、秋の彩りの中、カラオケ大会、大茶会やバザーなどを楽しんでいました。

会場内は一日中多くの人々で賑わい活気に満ちていました。



▲横蔵寺もみじまつり



▲谷汲もみじまつり

キャンドルフェスタ開催
2000個の手作りランタン

11月27日(土)、揖斐高原栃の実荘の駐車場でキャンドルフェスタが開催されました。

今回のイベントは、スキー以外の揖斐高原の楽しみ方を提案しようと、財団法人いびがわが企画。ペトボトルで作ったランタンは、町内10小学校と5保育園の約1500人が習字紙に思い思いの絵を描き、ペトボトルに巻いて作成したものなど、約2000個が用意され、幻想的な光景が広がっていました。

訪れた親子らは、「きれい」と感嘆の声をあげて幻想的な雰囲気を楽しんでいました。

また、栃の実荘の2階では、サクソフォーンの演奏も行われ、アンコールの音が飛び交い来場者は「光と音楽」を堪能しました。



▲幻想的な光景が広がりました

秋の城台山公園と揖斐川の
町並みウォーキング

11月27日(土)、秋の城台山公園と揖斐川の町並みウォーキングが行われおよそ350人が参加しました。

この催しは、町の自然や歴史を巡り、揖斐川の町並みで魅力を再発見することを目的として行われています。

スタート・ゴール会場は、揖斐川町役場で、参加された皆さんは、全長およそ7キロメートルのコースを楽しみました。この日は、城台山公園の紅葉が見ごろで、多くの参加者が美しい紅葉を背景に記念写真を撮っていました。

ロウケツ染体験やコース上に設けられた豚汁、甘酒などのおもてなしコーナーも大変好評でした。



▲秋の揖斐川を楽しみました

「いびがわキッズ」ミナモ応援隊
みんなで大会を成功させよう

11月29日(月)、平成24年のぎふ清流国体・ぎふ清流大会を応援するため、「いびがわキッズ」ミナモ応援隊としていびがわ幼稚園の園児33人が役場を訪れました。

園児たちは、みんなで作成したミナモのミニメントの前でプレゼントとともに、両大会の成功に向けて宗宮町長にエールを送りました。今後も園児たちはミナモダンスの披露を通して両大会を盛り上げていきます。

園児たちが作成したミナモのミニメントは役場1階町民ホールに展示されています。ぜひご覧ください。



▲いびがわキッズは元気いっぱいです

交通事故に歯止めを、人波作戦
交通安全統一街頭啓発

11月29日(月)、交通事故が多発している揖斐郡で年末年始の事故を減らそうと、揖斐警察署と揖斐郡3町による交通安全啓発活動「3町統一事故防止啓発活動(人波作戦)」が行われました。

揖斐警察署管内では、今年の人身事故の増加数と増加率が県内ワーストとなっており、交通事故に歯止めをかけるため、住民総参加で交通安全に取り組んでいく必要があります。

揖斐川町では、揖斐川中央公民館前国道303号線沿いをメイン会場に、主要な国道、主要地方道、県道沿いなど町内各地で、約1000人の地域住民の皆さんがのぼり旗などを掲げて、ドライバーに安全運転を呼びかけました。



▲交通安全街頭啓発の様子(中央公民館前)

地域を明るく元気に！
商工会女性部が活躍しています

20年ほど前から商工会女性部の皆さんが行なっている花いっぱい運動が、11月16日(火)に行われ、鉢植えの花を揖斐川健康広場や養老鉄道揖斐駅、揖斐川町役場などへ配布されました。

商工会女性部は、町の活性化に結び付けようと、231人の部員の皆さんで花いっぱい運動のほか、地域の素材を生かした特産品の開発を検討する特産品開発塾、交通安全街頭啓発活動など、様々な取組みを行っています。

また、11月30日(火)には、揖斐川尚和園で「ふれあい会」を行い、清水小学校6年生の児童や地元出身の歌手松田敏来さんと一緒に合唱や積み木などで入所者の皆さんに楽しく和やかな時間のプレゼントをしました。

商工会女性部の皆さんの活動は、町を明るく元気にしてくれます。



▲揖斐川尚和園でのふれあい会



▲花いっぱい運動

エコとします隊
地球温暖化防止に取り組みます

12月は地球温暖化防止月間に位置付けられており、12月2日(木)に岐阜県の取り組みを啓発するキャラバン「エコとします隊」が揖斐川町役場を訪れました。

県では、「チェンジ マイライフ」をスローガンに温暖化防止に取り組んでいます。

この日は、岐阜FMのパーソナリティーである小島愛さんが5人のスタッフとともに来庁。「多くの人に環境について考え意識を高めていただきたい。」と話されました。

宗宮町長は、「森や川を守り、野生動物との共生を考えながら、揖斐川上流域に住む者の責任と誇りを持って環境問題に取り組んでいきたい。中下流域に住む人たちにもぜひ応援をしていただきたい。」と話しました。



▲地球温暖化防止に取り組みます

叙勲祝賀会開催

12月8日(水)、揖斐川町中央公民館で平成22年に叙勲を受章された皆さんの祝賀会が開かれました。発起人を代表し宗宮町長が受章者の功績を紹介し、出席者がその功績を称えました。

平成22年に叙勲を受章されたのは次の皆さんです。

- 《瑞宝双光章》窪田 武利さん
- 《瑞宝双光章》小胎 勝さん
- 《瑞宝双光章》大久保光子さん
- 《瑞宝単光章》細野 行男さん
- 《瑞宝単光章》小岩 明さん



▲皆さんおめでとうございます